Form No. 3383-736 Rev A

仕上げキット
マルチプロ 5800 ターフスプレーヤ用フォームマーカー
モデル番号127-9797

取り付け要領

注 このキットの取り付けには、フォームマーカー・キットが必要です。詳細については弊社代理店におたずねください。

⚠ 警告

カリフォルニア州
第65号決議による警告

米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされております。

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	フォームマーカー（別売品） ボルト（1/4 インチ） ナット(1/4 インチ) ワッシャ	1 4 4 4	フォームマーカー（別売）を取り付けます。
2	フォームマーカー用ブラケット ナット(5/16 インチ) ボルト（5/16 インチ）	1 4 4	仕上げキット用ブラケットを取り付けます。
3	スイッチ	2	スイッチを取り付けます。

© 2014—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は：www.Toro.com.

CE

この文書は翻訳です。(JA)
Printed in the USA
禁無断転載

3383-736 A

1

フォームマーカー(別売)を取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	フォームマーカー(別売品)
4	ボルト (1/4 インチ)
4	ナット(1/4 インチ)
4	ワッシャ

手順

フォームマーカーをブラケットに固定する；ボルト4本とナット4個を使用し、図 1に示すように取り付ける。

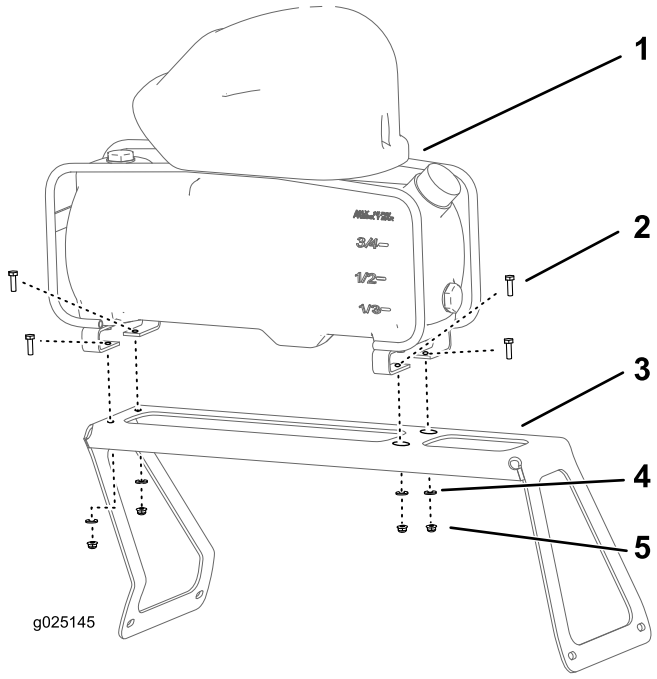


図 1

1. フォームマーカーのタンク（別売品）
2. ボルト(1/4 インチ)
3. ブラケット
4. ワッシャ
5. ナット(1/4 インチ)

2

仕上げキット用ブラケットを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	フォームマーカー用ブラケット
4	ナット(5/16 インチ)
4	ボルト(5/16 インチ)

手順

1. 右側タイヤガードについている金具類を外す（図 2）。

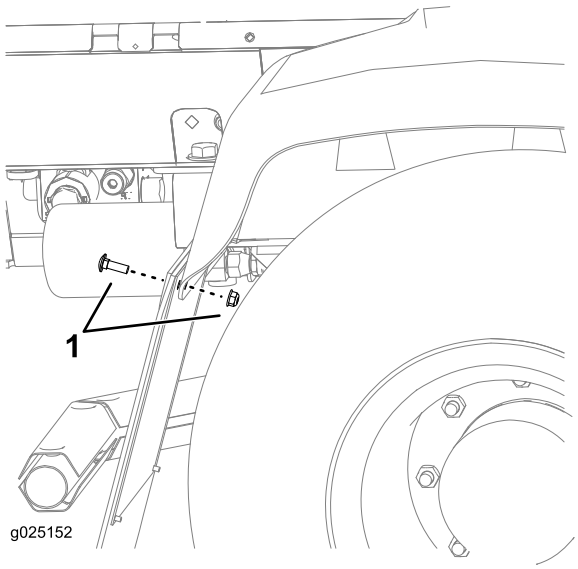


図 2

1. 既存の金具

2. ブラケットを機体に取り付ける；ボルト（5/16 インチ）4本と、ナット（5/16 インチ）4個を使用して図 3のように取り付ける。

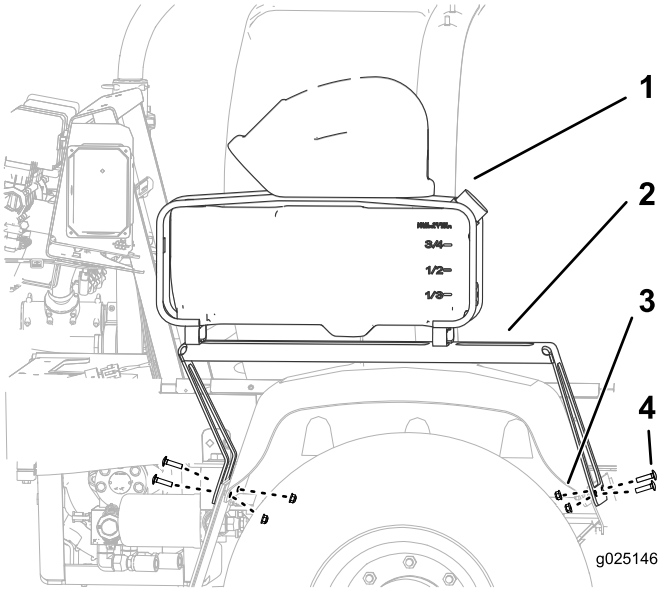


図 3

1. フォームマーカーのタンク
2. ブラケット
3. ナット(5/16 インチ)
4. ボルト(5/16 インチ)

3

スイッチを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	スイッチ

スイッチを取り付ける

1. コントロールパネル上のプラグ2枚を打ち抜いて除去し、その穴にスイッチを図 4のように取り付ける。

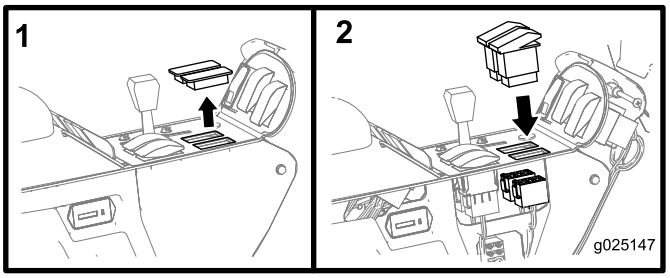


図 4

2. スイッチをコネクタに接続する

運転操作

コントロールを使用する

右マーカー用 ON/OFF スイッチ： コンプレッサを作動させて右側のブームに泡を送り出します。

左マーカー用 ON/OFF スイッチ： コンプレッサを作動させて左側のブームに泡を送り出します。

インジケータマーク： タンクの側面にあり、タンク内部の溶液の量を示します。

泡密度調節バルブ： 泡生成液の濃度を調節します。バルブを操作することにより、ノズルに送り出される石鹸液の量を調整することができます。量を多くすると泡が大きくなり、同じ時間内により多くの泡が落ちるようになります；量を少なくすると泡が小さくなり、落ちる泡の数も少なくなります（図 5）。

注 風が強い日には、水分の多い泡にすると飛ばされにくくて便利です。

圧力解放バルブ： タンクのキャップについている赤いタブを外側に引っ張るとタンク内の圧力が解放されます（図 5）。

タンクに発泡剤を入れ、泡密度を調節する

重要 使い終わった後は、真水で内部を洗ってください（特に硬水で使用する場合には、使用後の洗浄を徹底してください）。潤滑油、グリスなど、石油系の製品を、コンプレッサモータ・アセンブリに使用しないでください。

1. コンソールのブームスイッチが左右ともOFFになっていることを確認する。
2. 赤いタブ（圧力解放タブ）を外側に引いて内圧を解放し、タンクの黒いキャップを外す。
3. タンクに適当量の水を入れ、次に、タンク上部の口から発泡原液を入れる（原液は原液メーカーの指示に従って取り扱う）。

   重要 水のpH値が極端な場合（硬水/軟水）は、濃縮発泡剤の必要量が変わります。
4. タンクにキャップをはめ、手で締め付ける。
5. とりあえずの設定として、泡密度調節バルブを1/8～1/4回転、開ける（図 5）。

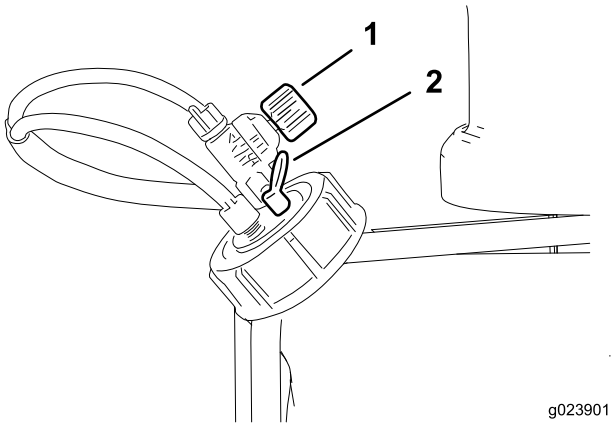


図 5

1. **泡密度調節バルブ**　　2. **圧力解放バルブ**

6. マーキングシステムの操作を開始し、地面でテストする。

   注 泡は最初の1～2分で配管に行き渡る。

7. 泡密度調節バルブで所望の濃度に調節し、ふつうに散布作業を行う。

   注 泡をライン内に2時間以上残したままにすると、泡が水っぽくなることがあります。2時間以上の中断の後で作業を再開するときは、1～2分回して余分な水を抜いてください。

   泡の水気が多すぎる場合は、次の手順を行ってください。

   A. 泡密度調節バルブを完全に閉じる。

   B. 2分間運転する。

   C. 1分待ってから泡の密度を確認する。

   D. 所望の密度になるまで調節する。